

ABBYY® FineReader® PDF

よりスマートなPDFソリューション

ABBYY FineReader PDFとは?

ABBYY FineReader PDFは、さまざまな用途に使える万能なPDFツールです。このツールを用いることで、知識労働者がデジタルワークプレイス上で効率的に文書进行处理できるようになります。AIをベースとしたABBYYのOCR技術は、デジタル化やデータの検索、編集、保護、共有を一層容易にし、そして現代の業務で扱う文書の種類を問わず共同作業を可能にします。

FineReader PDFは、アクセス不可能で、検索不可能な文書や情報から生じる非効率さを省略します。紙媒体とデジタル文書を同時に使ったワークフローや、さまざまなソフトウェアアプリケーションの使用が必要とされるタスクなどに含まれる非効率な作業も省くことができます。これにより知識労働者は、事務的な業務に煩わされることなく、それぞれ自身の専門分野に専念できるようになります。



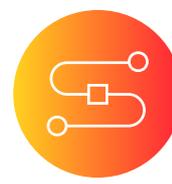
ドキュメント処理の最適化

1つのワークフローで、あらゆる種類のドキュメントのデジタル化、検索、編集、保護、共有、共同作業を実施できます。



PDFを最大限に活用

今までになかったほど簡単に、デジタルおよびスキャンしたPDFを編集することができます。文章やパラグラフの修正、レイアウトの調整等を、自由自在に行うことが可能になります。



ドキュメントワークフローのデジタル化

AIベースのOCRテクノロジーで、デジタルワークスペースに紙ベースの文書を統合することで日常業務を簡略化します。

主な機能

ABBYY FineReader PDFは、さまざまなフォーマットの文書をシンプルに行えるようにするための、総合的なツールセットを提供します。その作業には、はじめからデジタル文書であるのか、紙の文書からデジタル化されたものであるかは問いません。



PDFの編集および整理

はじめからデジタル文書であるのか、紙の文書からデジタル化されたものであるかという制約を受けず、同じ手順で全ての文書の処理を行えます。面倒な変換の手順を踏むことなく、PDFのテキスト、表、レイアウトにアクセスし、編集します。



PDFの保護および署名

PDFの共有および保管におけるセキュリティリスクを緩和します。デジタル署名の適用、重要情報の編集、非表示データの削除、PDFへのアクセスの管理を、行うことができます。



異なるフォーマットのドキュメントの比較

バージョンが異なる2種類の文書を、素早く比較できます。仮にその2つの文書が、検索不可能なスキャンデータであっても、比較可能です。変化について簡単な見出しを付けて、コメント付きのPDFや、トラックチェンジ機能が付けられたWordデータとしてエクスポートしましょう。これにより、他の人たちへのシェアや、共同作業ができるようになります。(FineReader PDF Corporateのみ)



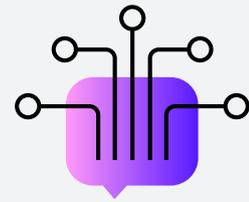
デジタル化および変換ルーチンの自動化

繰り返しの多いテキスト認識 (OCR) タスクを合理化するために、自動化ツールを活用しましょう。また、複数の文書を検索可能なPDFやPDF/A文書に変換させたり、Microsoft WordやExcelのような編集可能なフォーマットに変換させることも可能です。(FineReader PDF Corporateのみ)



PDFの共同作業および承認

アイデアを共有し、チームからのフィードバックを収集し、ドキュメントの承認を可能とします。ドキュメント内でマーキング、コメント、イラスト機能等のツールを活用して、PDF上で直接ディスカッションし、決定を下すことができます。



FineReader PDFの何が際立っているのか?

- 迅速な背景認識機能は、これまで検索できなかったPDFデータを、すぐにアクセス可能な状態にし、作業に使える状態にします。
- 検索不可能なスキャンデータを含む、多様なファイルフォーマットの文書を比較できることで、文書の比較作業を効率的に行えるようになります。
- 非常に多くの言語が認識可能です。インテリジェントな文書の言語検知機能や多言語文書をサポートしています。
- 突出した品質のOCR変換を提供する、OCRの業界リーダーです。
- OCRエディタを使った高度なドキュメントのデジタル化および変換機能です。
- 素晴らしい精度でテーブルの変換と抽出を行います。



PDFの作成および変換

あらゆるファイルフォーマットや紙の文書を、ISOの規則に準拠した検索可能なPDFに変換できます。あるいは編集を進めるために、それらの文書をMicrosoft®WordおよびExcel®フォーマットに変換できます。



インタラクティブPDFフォームの作成

入力可能なフィールド、ドロップダウンリスト、多項選択式質問、アクションボタンなどを備えたPDFフォームを作成し、より効果的に情報を収集し、一般化された文書テンプレートを作成しましょう。



OCRを使ったドキュメントとスキャンデータのデジタル化

紙の文書をデジタル化し、スキャンされた文書を検索可能な状態で保存を行います。そうすることで、素早く確実なデータの引き出しや、再利用、編集を行なえます。デジタルワークプレイス向けに、マーケットを牽引するABBYYの人工知能ベースOCRテクノロジーを活用しましょう。



ユニバーサルPDFツールでの簡単な作業

シンプルで単純なユーザーインターフェースと、高品質の仕上がりを堪能してください。使用するアプリケーションの数を減らし、同じ作業の二度手間を防ぐことで、日常業務の効率性を向上させられます。Microsoft Officeアプリとの統合により強化されたFineReader PDFの機能を活用してください。

どのオプションが、あなたにとって最善のものですか？

ABBYY FineReader PDFは、知識労働者向けのPDFツールを提供します。このツールは、彼らがデジタルワールドの業務に対応する上で不可欠なものです。ABBYY FineReader PDFには、個人向けと企業向けの2つのバージョンがあります。個人ユーザー、中小企業、エンタープライズ企業、公的・教育機関は、業務内容に応じて最適なバージョンを選択できます。

ABBYY FineReader PDF – 利用可能なオプション

個人向け		企業向け
Standard	Corporate	ボリュームライセンス
PDFの編集、保護、共同作業	PDFの編集、保護、共同作業	Standard版とCorporate版のいずれにも、数多くのライセンス購入オプションをご用意しておりますので、社員数に応じて万能型PDFツールを使えるようライセンスを割り当てていただくことが可能です。進化したボリュームディスカウント、ネットワークデプロイメント、そしてシンプルなライセンス管理、それぞれのメリットをご活用ください。
PDFの作成および変換	PDFの作成および変換	
OCRによる紙ベース文書およびスキャンデータのデジタル化	OCRによる紙ベース文書およびスキャンデータのデジタル化	
	デジタル化および変換ルーチンの自動化ページ/月*、2コア	
	さまざまなフォーマットのドキュメントの比較	

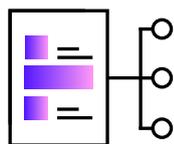
*1カ月のページ制限数は、Hot Folderによる自動処理にのみ適用され、30日ごとに更新されます。

FineReader PDF 16の新機能



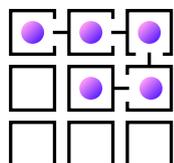
新機能 ユーザーインターフェースの再設計

新しいリボンスタイルのインターフェイスでナビゲーションが容易になり、グラフィックも一新されました。この究極のPDFツールにより作業エクスペリエンスの向上が可能になります。



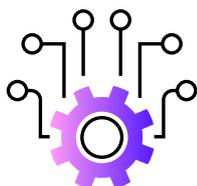
新機能 「ページ管理」 ツール

新しい「ページ管理」ツールは、再設計・改良された既存のページツールに加え、PDFページの管理およびPDF文書の並べ替えにおける生産性を完璧なものにします。



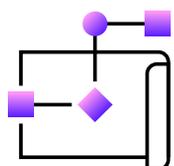
新機能 x64ネイティブ

FineReader PDF 16は、x64 Windowsプラットフォームでパフォーマンスを向上させるための64ビットアプリケーションです。



新改良 ABBYY製品の中でも特に有名なOCR

PDFおよびスキャンされたドキュメント変換への、最高クラスのソフトウェアであるために、最新のOCRの改良により、より正確なドキュメントレイアウトの検出と再構築が可能になりました。



新改良 組織向けの簡略化されたライセンス管理と導入

Microsoft Azure内での展開のサポート、簡略化されたライセンス更新プロセス、新しいWIXベースのインストーラ、および同時使用ライセンスと互換性のある無料のPDF Viewerにより、FineReader PDFは企業全体での使用に適しています。



新機能 SVGからPDFへの変換

図面、チャート、ダイアグラムなど、SVG形式のドキュメントから検索可能なPDFを作成します。

ABBYY FineReader PDFを体験してみてください!

[↳ 無料トライアル版をダウンロードする](#)

組織全体にFineReader PDFを展開する

フレキシブルで、シンプルなライセンスの購入オプションは、各企業が必要とする規模やITインフラストラクチャに応じて、柔軟に対応します。所属する企業の社員向けに、5ライセンス購入から始めることができます。これにより、このツールを使う社員たちは、企業全体のPDFデータの処理作業の最適化を行うことができるようになります。



PC固定ライセンス 5ライセンス以上

あらゆる規模の非中央集中化された組織や、各地域のローカルエリアネットワークにとって理想的な環境を用意しており、各社員が日常的に使うデスクに、PDFソリューションが必要な企業に最適です。単一のライセンスキーを用いた中央集中型ロールアウトによるインストールをサポートしています。ライセンスは、ライセンスマネージャーツールを用いて管理されます。



リモートユーザー・ ライセンス 5ライセンス以上

デスクトップやバーチャル化ソリューションのためのアプリケーションを通じて、FineReader PDFを使えるようになります。そのためのアプリケーションには、Microsoft Remote Desktop Services (RDS)、Microsoft Azure、Citrix Virtual Apps、Desktopsなどが挙げられます。サーバーファームへのFineReader PDFのデプロイや、ライセンスマネージャーツールの使用をサポートしています。このツールを使うことで、FineReader PDF使用ライセンスのセットアップと統制を行い、ユーザーの割当を行うことができます。



同時使用ライセンス 5ライセンス以上

必要に合わせてPDFソリューションを用いることで、中小企業や各地域のローカルエリアネットワーク内の社員に最適で、コスト効率性の高いソリューションを提供します。台数の上限なくワークステーションに、デプロイを行うことができます。しかし、同時に使用できるユーザー数は、ライセンスの交付数によって制限されます。

↳ [お客様のITインフラストラクチャ内で、ライセンスのタイプをお試しください。](#)

IT関連の利点



ITコストの合理化

サブスクリプションプランとボリュームディスカウントにより、組織全体の影響を最大化することができます。



ソフトウェア資産管理の標準化

複数のステークホルダーによって共同作業を円滑に行うため、組織全体でひとつのPDFソリューションを使用できます。



全てを揃えたオールインワン機能

OCRを最大限に活用したテクノロジーを導入することで、スタッフたちも働きやすくなります。そして、この技術を活かして、さまざまな種類のPDFファイルの処理を最適化できます。



ライセンス管理の簡略化

自動化されたデプロイメントと簡単なライセンス管理により、ITワークロードを低減します。

システム要件

全ての技術的な条件、サポートされているインプットおよびアウトプットのファイルフォーマット、同様に認識可能な言語や文書の比較可能な言語に関する詳細なリストは、こちらをご覧ください。 pdf.abbyy.com/ja/specifications/

• Microsoft® Windows® 11 / 10

• 1GHz (またはそれ以上) のx64プロセッサを搭載したPC

• マルチプロセッサシステムの最低2GBのRAM (4GBを推奨)、追加プロセッサごとに追加で512MBのRAMが必要となります。

• 通常のプログラムインストールのために1.6GBのハードディスク容量が、プログラムの最適な動作のために1.6GBの空き容量が必要となります。

• シリアルナンバーを有効化するためにインターネット接続が必要となります。

ABBYY は、アーセナル女子フットボール クラブの公式インテリジェント オートメーション パートナーです。

詳細はこちら: www.abbyy.com/arsenal

ABBYY



OFFICIAL INTELLIGENT AUTOMATION
PARTNER OF ARSENAL WOMEN FC

ABBYY

FineReader PDFの詳細については、こちらをご覧ください。 pdf.abbyy.com/ja

ABBYYの世界各地の連絡先一覧: www.abbyy.com/ja/contacts

© 2024 ABBYY Europe GmbH. ABBYY FineReader © 2023 ABBYY Development Inc. ABBYY および ABBYY FineReader は、ABBYY Development Inc. またはその関連会社の登録商標、商標です。これらの表記は、ABBYY Development Inc. およびその関連会社のロゴ、製品名または会社名 (またはその一部) である場合もあり、各所有者の同意なしに使用することはできません。 #14847

[abbyy.com](https://www.abbyy.com)